



マイクロ・ナノプラスチックの危険性

2023年4月に発足した「有害化学物質から子どもを守るネットワーク(子どもケミネット)」では、設立3周年を記念して2026年度の年次総会と記念講演会を企画しました。

近年の研究で分かってきたマイクロ・ナノプラスチック(MNP)による環境汚染が関心を集めています。MNPは大気、土壌、飲料水、食品、室内空気に至るまで広範に存在し、日常生活において回避困難な曝露因子となりつつあります。

MNPは人体の全ての組織に侵入し、曝露の多い人では、心筋梗塞や脳卒中などのリスクが上昇する研究に注目が集まっています。とくに微小なナノプラスチックは脳に侵入しやすいことが、わかってきました。さらにMNPは胎盤を通過して、胎児にも侵入し子どもの成長に影響を及ぼす可能性があります。

医学系学術誌“医学のあゆみ”2026年1月号「全身疾患の新たな危険因子としてのマイクロ・ナノプラスチック」の監修をされた岐阜大学大学院・脳神経内科学分野、下畑享良教授に、最新の科学情報をお話いただきます。皆様奮ってご参加ください！

【スケジュール】

13:30~14:20 年次総会

14:30~16:00 記念講演

「全身疾患の新たな危険因子としての
マイクロ・ナノプラスチック」

下畑享良氏

16:00~16:30 質疑応答・意見交換

2026年4月19日(日)

13時30分~16時30分

会場：連合会館501号室(定員45名)
のライブとZoomウェビナーの同時開催
千代田区神田駿河台3-2-11
JRお茶の水駅より5分

参加費：無料

会場参加の方は、
メール(kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp)で
お申込みください。

ウェビナー参加は
下記URL、または右記QRコードより
お申込みください。
<https://x.gd/h2Rwo>



講師

下畑享良氏

岐阜大学大学院
医学系研究科
脳神経内科学分野教授



医学博士、PhD、MD、新潟大学医学部医学科卒業、新潟大学脳研究所神経内科入局、日本学術振興会特別研究員、米国スタンフォード大学客員講師、新潟大学脳研究所神経内科准教授を経て2017年より現職
学会理事：日本神経治療学会、日本脳循環代謝学会、日本脳卒中学会、日本脳血管・認知症学会、日本難病医療ネットワーク学会、日本神経摂食嚥下・栄養学会、日本神経救急学会、学会監事：日本神経病理学会、米国神経学会フェロー(FAAN)、米国脳卒中学会フェロー(FAHA)、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(PMDA)専門員(2025年3月まで)、JMA journal editor

共催：有害化学物質から子どもを守るネットワーク(子どもケミネット)
ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議(JEPA)
有害化学物質削減ネットワーク(T-ウオッチ)

事務局：〒136-0071東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4F

■本件に関するお問い合わせは kokumin-kaigi@syd.odn.ne.jp または03-5875-5410

このセミナーは2026年度地球環境基金の助成を受けて開催されます。